

事業所名

社会福祉法人 城山 わいわいポケット

支援プログラム

作成日 2026年3月31日

法人（事業所）理念		地域生活を豊かに過ごすため、障がいのある人もない人も、お互いに支えあい、共に歩んでいこうとすることを支援する作業所です。	
支援方針		利用者の人格を尊重しその能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活が営むことができるよう、利用者の状況に応じた柔軟な事業形態で地域の実情に応じた支援を行います。	
営業時間		(平日) 9時00分から 18時00分まで (学校休日) 8時30分から 17または17時30分	送迎時間の有無 あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態（検温・顔色・排便・睡眠など）や心身の状態（機嫌・表情・言動など）を観察し、変化に気付くように心がけます。 生活リズムの安定、日常生活動作（食事のマナー・トイレトレーニング・挨拶など）のスキルアップに努めます。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 五感を使ったレクリエーション（粘土・リトミック・クッキング・工作など）や、目と手や身体と一緒に動かす練習をします。 散歩やラジオ体操など、筋力を維持し身体のバランス・コントロールを図ります。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 当日の日付・曜日・天気・利用者・スタッフ・予定などを視覚で分かるよう掲示します。 個々の感覚特性に配慮した環境を整え、苦手な課題にも取り組めるようチャレンジ精神を養います。 タイマーを用いて活動の切り替えを視覚と聴覚にて促し、時間を意識して自ら行動することを支援します。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びの中で自分で考えを相手に伝えたり、人との距離感を学べるように支援します。 個々の特性に応じてマカトン・言葉・絵カード・身振りなどのコミュニケーション手段を活用します。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 1人遊びや集団遊びの活動を通し、自己理解・他者理解を養い、必要なスキルを身に付けます。 生活の中で楽しいと感じることを身に付け、相手を思いやる心や感情のコントロールを育みます。 	
家族支援		送迎時や連絡帳を通じて保護者の不安や心配事に耳を傾け、いつでも相談できる環境を整え、支えになるよう努めています。	移行支援 高校卒業後の進路について、各関係機関（学校・放課後等デイサービス・相談支援所・施設訪問など）と情報共有を行っています。
地域支援・地域連携		地域の行事（防災訓練・掃除・お祭りなど）に参加し、施設や利用者の存在の周知と理解に努めます。	職員の質の向上 委員会や研修報告等について会議等でスタッフ同士の意見交換や情報を共有し、スキルアップを目指します。
主な行事等		季節の行事（初詣・節分など）、避難訓練	